令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	都市基盤が整った 快適で暮らしやすいまちづくり 【都市基盤分野】	施策	30_公共交通	所管部長 取りまとめ所属	都市部長 都市政策課
施策の内容	快適で利用しやすい公共交通ネットワークの形成に向け、交通事業者との連携による取組を推進します。				
めざす姿	本市のまちづくりに対応した快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成され、誰もが安全で快適に移動することができています。				
重点事業					
施策構成事業	公共交通対策事務費				

評価

進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	令和５年度に策定した地域公共交通計画に基づき、誰もが利用しやすい交通環境の整備や利用促進活動等の各種施策を概ね計画通り実施できていると判断できます。
施策推進上の課題･環境変化	少子高齢人口減少社会の進展やコロナ禍による新たな生活様式を背景として、高齢者等の新たな移動ニーズへの対応が求められています。また、運転手不足を加速させる２０２４年問題等、公共交通を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中で、運転手の確保やバス路線の減便などに対して、公共交通事業者と連携を図り対応を検討していく必要があります。		

評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	概ね順調				

施策推進の方向性

方向性	継続
総評・今後の施策推進方針	公共交通の課題や環境変化に対して、速やかな対応が求められる中で、福祉施策との連携を図るとともに、地域公共交通協議会のもとに公共交通事業者との分科会を設置し、高齢者等の新たな移動ニーズや運転手不足、バス路線の減便などへの具体的な対応策を検討していきます。また、引き続き、ノンステップバスの導入促進などによる利用しやすい公共交通環境の推進とともに、広報いせはらや利用促進リーフレットを活用した利用促進活動、公共交通空白地区等については、地区別カルテを活用し、地域特性に応じた移動のあり方についての検討を進めていきます。

成果指標

成果指標名 指標の定義	現状値	R５ 実績値	R６ 実績値	R７ 実績値	R８ 実績値	R９ 実績値	R９ 目標値(方向性)
市内の公共交通の利用者数 路線バス、タクシーの年間利用者数	728万人 (R3)	904万人					845万人
ノンステップバスの導入率 市内運行路線のノンステップバスの導入率	49% (R3)	50%					80%以上
快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成されていると思う市民の割合 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	49.2% (R4)	48.2%					↗

重点事業の取組内容

事業名	
事業内容	―

取組工程	項　目	令和5年度 計画	令和5年度 実績
	―	―	―
令和5年度取組内容	―		

重点事業以外の取組内容	
令和5年度 主な取組内容	●将来の都市づくりに対応した快適で利用しやすい地域公共交通ネットワークを形成するため、平成３０年に策定した地域公共交通網形成計画を改め、地域公共交通計画を策定しました。 ●利用促進活動では、イベントによる啓発活動の実施や、公共交通事業者の取組等を掲載した利用促進リーフレットの更新を行いました。 ●誰もが利用しやすい交通環境の整備に向けて、ノンステップバス導入に係る補助を行う他、多様なモビリティサービスの検討を行うため、先進事例の調査・研究、福祉施策の利用状況の把握等を行いました。